

ご挨拶



わが国経済は政権交代に伴うアベノミクス効果により円安、株高が急激に進み、輸出産業を中心に業績に回復傾向が見られ、それに伴い個人消費や設備投資も上昇基調に向かいつつあります。一部ではデフレ脱却への期待感も高まりつつあります。しかしながら、中国景気の減速や、近隣諸国との政治不安、日本国内における財政リスクなど、懸念材料は少なくありません。

このような状況下、バルカーグループは真に強固な事業基盤を確立すべく、成長分野への展開と合理化を同時に進め、CSR経営の推進とグローバル人材の育成にも力を注いでいます。また、シールエンジニアリングをコア技術として主力であるシール製品の充実を図ると同時に、環境事業への取り組みを強化しています。その一環として、九州バルカーの敷地内にメガソーラー施設を建設し、本年3月より売電事業を開始しました。一方、中国においては、イタリア・ガニフロン社と合弁会社を設立し、環境にやさしいふっ素樹脂の表面処理技術の導入を進めています。

また、次なる成長に向かって、非シールの高付加価値製品の開発を強化しています。メンブレンや機能膜といった製品を順次市場へ展開する一方で、これらを基盤技術とする新たな差別化技術の構築、付加価値製品の開発を行っています。本誌で紹介する「粒子担持技術とその用途展開」、「シート状合成ゼオライト系吸着剤の開発」などは、いずれもメンブレンなどの非シール分野を基盤技術とする新たな製品開発であり、「環境」、「エネルギー」などの成長分野への展開を図っています。更には、中国における非シール分野の開発拠点である中国メンブレン研究所においても、中国国内市場への接点強化を進め、市場のニーズに基づく開発に注力しております。

今後とも当社の理念である「THE VALQUA WAY」の下、お客様一人ひとりに感動を提供できる製品開発を目指し、社会の発展への貢献に努めてまいります。本誌が当社の技術、製品をご理解いただく一助となれば幸いです。読者の皆様におかれましては、当社製品を末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

常務執行役員 CTO (最高技術責任者) 黒田 博之